

花木（アセビ、コウヤマキ、サクラ）の生産・販売の拡大による生産者の所得向上

【令和3年度補正】

日本の花木を海外へ（輸出を含めた販路拡大により販売額が向上した事例）

中山間地域所得確保推進事業

地区概要

【地区名】

全域地区（奈良県五條市）

【現況】

- ・五條市は、花木の生産が盛んで「花木の百貨店」と呼ばれるほど、多種多様な花木が生産される関西有数の産地である。生産される花木は、季節感を演出し、生け花には欠かせない花材となっている。
- ・しかし、近年生け花での需要の低下により、国内消費も減少傾向にあるため、海外を含めた販路拡大が必要。



①中国の卸売業者を対象にしたオンライン調査の様子

調査・検討・実践

①マーケット調査による分析

中国の卸売業者を対象にしたオンライン調査を行った。
現地仲卸業者に、コウヤマキ、アセビ、ケイオウザクラ及びサンシュユ、計4品目を送付し、他産地のものを併せて送付して需要等の意見を聞き取った。



②サンシュユ促成開花の様子

②生産・加工・流通・販売の状況分析、生産・販売戦略の検討

フラワーアレンジメントの需要が少なく、生け花、お稽古の需要がほとんどである品目（サンシュユなど）について重点的に輸出に取り組む方針とした。

③PRや販売、海外輸出の取組

国内展示会に出展し、市場関係者や生花販売関係者はじめ、食品関係者やブライダル事業者、大学生、他県の研究員、農研機構職員などに対してPRを行った。
卸売市場や輸出商社と協力して中国向け輸出を拡大させた。



③国内展示会の様子

取組の成果

令和6年度の花木の販売額は90,323千円となっており、現況値の79,035千円から販売額が増加（14%増）している。

現況値(R3)	目標値(R6)	実績値(R6)
79,035千円	86,940千円	90,323千円